

「生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞に関する授業実践」

授業者 埼玉県立大宮光陵高等学校 教諭 石田 裕也
対 象 第3学年6組 11名
科 目 漢字仮名交じりの書Ⅰ

＜単元設定の理由＞

社会生活に欠かせない手紙は、かなり古くから遺例がある。その文面は、男性の場合は漢文体が一般的であり、すでに奈良時代のものが知られている。また、女性の場合は仮名消息であり、平安時代に平仮名ができてからのことである。漢字仮名交じりの手紙となると、時代が下がり、ようやく平安時代末期の頃に登場する。現存する手紙を見ると、その書式の中に、様々な文面や書風が展開されるが、そこには、当時の日常生活を知る手がかりが得られるとともに、筆者の人間味溢れた表現を鑑賞することができることも、手紙の大きな魅力の一つである。

本単元では、手紙の表現と鑑賞を通して、漢字と仮名の調和や書風などを知り、自らの表現に生かし、漢字仮名交じり文を効果的に表現する能力を培うことを目的とする。また、手紙の様々な形式を理解し、日本の伝統や文化についての理解を深めるとともに、社会生活に生かしていく態度を養うことを目的として設定した。

＜埼玉県高等学校教育課程編成要領との関連＞

埼玉県高等学校教育課程編成要領の漢字仮名交じりの書の目標の(1)に、「漢字仮名交じりの書の表現形式について理解を深めるとともに、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けるようにする。」とある。学習内容を生活や社会の中で生かすためには、書の伝統と文化の中で継承されてきた書式などの知識や教養とされる書字の技能を身に付けることが必要である。そして、身に付けた技能を生涯にわたり生活や社会の中で生かすためにも、主体的に書や書の文化と触れあい、書を楽しみながら生活の中に取り入れ生かす態度へと生徒自らがつなげられるように指導することが大切であると考える。

また目標の(2)には、「現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深め、表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。」とある。現代の社会生活に生きる様々な書の表現には、実用的な表現と芸術的な表現がある。しかし、現代の社会では、メディアやIT機器が普及し、他者との関わりを前提とした社会生活における情報のやりとりや意思の伝達の方法が大きく様変わりしている。その中で、手書きによって伝えることの価値が改めて見直されていることや、書が社会生活における他者との関わりの中で生かされていることもある。生徒自らが主体的な表現の発信者として関わりながら、生活や社会に広がる文字や書と豊かに関わる資質・能力を育成するためにも、本単元では手紙文について扱い、お世話になった中学校の先生方へ手紙を送付する。高校生活における報告とともにこれまでの感謝等を伝える内容とする。

＜育てたい資質・能力＞

本校は、「校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に付け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。」ことを、目指す学校像としている。普通科、普通科外国語コース、美術科、音楽科、書道科の4学科1コースを設置し、各科・コースでは生徒の将来を見据え、専門的な授業、学習活動を展開している。

書道科では育成を目指す資質・能力を「書や書の伝統と文化と創造的に関わる資質・能力」としている。この資質・能力を育成するために、書道に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めること、

書の伝統に基づき創造的に表現するための技能を身に付けること、それらを活用して創造的な思考力、判断力、表現力等を育成すること、そして、主体的に書道に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、書の伝統と文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養うことを目標としている。本校書道科の専門科目には、「書道概論」、「書道史」、「鑑賞研究」、「漢字仮名交じりの書」、「漢字の書」、「仮名の書」、「篆刻・刻字」、「実用の書」、「応用の書」、「硬筆」、「レターデザイン」、「文字環境表現」、「和の伝統表現」の13科目がある。

本単元では、1年次の「漢字の書」で学習した「風信帖」や2年次の「漢字の書」で学習した「十七帖」、同じく2年次の「鑑賞研究」で学習した藤原佐理の詫び状三通（「離洛帖」、「恩命帖」、「国申文帖」）等を取り上げることで、他の専門科目との連携を図り、多様な内容についての理解から手紙文についての理解を深められるようにする。この活動は、今までの学習を振り返ることになり、生徒が自身の学びについて自覚し、理解を深める場面となる。また、中国でつくられた漢字と日本で創造された仮名は字形や用筆など様々な点に相違があり、漢字と仮名を美しく効果的に表現するには様々な課題もある。漢字仮名交じり文を効果的に表現し、社会生活に生かしていくためにも漢字と仮名の調和とその表現について学習することは重要なことである。さらに、近代の人物の手紙文も取り上げることで、これらの手紙文からは内容の伝達だけではなく、書き手の思いや個性に触れることもできることを理解する。手紙文の鑑賞とともにその書き手の人物についても触れ、手書き文字の効果について考える。いにしえの人々の漢字と仮名の調和の工夫について学習するとともに、表現するための方法を身に付け、社会生活に生かしていく姿勢を養う。そして、学習活動の中で話し合いの機会を設定し、自らの考えを話したり、他者の考えを聞いたりすることで自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

1 単元名

「生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞」（「漢字仮名交じりの書」単元⑥）

2 指導項目

- ・(2) 漢字仮名交じりの書の表現の方法や形式，多様性など
- ・(4) 鑑賞

3 書道の目標と評価の観点及びその趣旨

	(1)	(2)	(3)
目標	書道に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書道に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	主体的に書道に関する専門的な学習に取り組み，感性を磨き，書の伝統と文化の継承，発展，創造に寄与する態度を養う。

(埼玉県高等学校教育課程編成要領 P.311)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書道に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めているとともに，独創的・創造的に表している。	書道に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的に思考，判断し，表現している。	主体的に書道に関する専門的な学習に取り組もうとしている。

(全国書道高等学校協議会 研究紀要第25号 P.42)

4 漢字仮名交じりの書の目標と評価の観点及びその趣旨

漢字仮名交じりの書の学習を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，専門的な書道に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
目標	漢字仮名交じりの書の表現形式について理解を深めるとともに，目的や用途，意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けるようにする。	現代の社会生活に生きる様々な書の表現とその要素について理解を深め，表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。	漢字仮名交じりの書の個性的，創造的な表現を追求する態度を養う。

(埼玉県高等学校教育課程編成要領 P.313)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	漢字仮名交じりの書に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めているとともに，独創的・創造的に表している。	漢字仮名交じりの書に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ，創造的に思考，判断し，表現している。	主体的に漢字仮名交じりの書に関する専門的な学習に取り組もうとしている。

(全国書道高等学校協議会 研究紀要第25号 P.44)

5 指導項目における単元構成

「漢字仮名交じりの書」総時間数 58 時間

単元①：漢字仮名交じり文の成立，漢字と仮名の調和（元永本古今集）	全 8 時間
単元②：漢字と仮名の調和（関戸本古今集）	全 8 時間
単元③：漢字と仮名の調和（藍紙本万葉集）	全 8 時間
単元④：漢字と仮名の調和と多様な表現（近代詩を用いた創作）	全 12 時間
単元⑤：漢字と仮名の調和と多様な表現（自らの言葉による創作）	全 16 時間
単元⑥：生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞	全 6 時間 【本単元】

6 単元の目標

（1）「知識及び技能」

- ・手紙文の伝統的な表現形式，名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。
- ・線質，字形，構成等の要素と書の美の多様性について理解を深める。
- ・書の伝統を踏まえ，目的や用途，意図に応じて創造的に表現する技能を身に付ける。

（2）「思考力，判断力，表現力等」

- ・手紙文の基本構成に基づき，文章を工夫し，目的や用途，表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫する。
- ・生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを深く味わって捉える。

（3）「学びに向かう力，人間性等」

- ・自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に主体的に取り組む。
- ・手紙文のよさや美しさを感じ，手紙文の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞に関する専門的な学習に取り組む。

7 指導項目ごとの評価規準

(2) 漢字仮名交じりの書の表現の方法や形式，多様性など

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・手紙文の伝統的な表現形式を理解している。 ・名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・書の伝統を踏まえ，目的や用途，意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。	・手紙文の構成に基づき，文章を工夫している。 ・目的や用途，表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・主体的な構想に基づく個性的，創造的な表現を追求している。	・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。

(4) 鑑賞

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 線質，字形，構成等の要素と書の美の多様性について理解を深めている。 - 日本及び中国等の書の伝統とその背景となる諸文化等との関わりについて理解を深めている。	- 作品の価値とその根拠について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 - 生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって深く捉えている。	主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

8 単元の評価規準

(1) 「知識・技能」

- 手紙文の伝統的な表現形式，名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知表)
- 線質，字形，構成等の要素と書の美の多様性について理解を深めている。(知鑑)
- 書の伝統を踏まえ，目的や用途，意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。(技)

(2) 「思考・判断・表現」

- 手紙文の基本構成に基づき，文章を工夫し，目的や用途，表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。(思表)
- 生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを深く味わって捉えている。
(思鑑)

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

- 自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に主体的に取り組もうとしている。
(態表)
- 手紙文のよさや美しさを感じ，手紙文の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞に関する専門的な学習に取り組もうとしている。(態鑑)

9 指導と評価の計画

・年間授業時数・・・ 58 時間 ・本単元の配当時数・・・ 6 時間

(1) 指導と評価の計画 (概要)

単元	時間	学習活動	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
			知表	知鑑	技	思表	思鑑	態表	態鑑
単元⑥	第1次 (2時間) (本時)	鑑賞・意見交換		○			○		○
		手紙文の理解	↓	↓		↓	↓	↓	↓
		鑑賞 (作品例)							
		手紙文の作成	○			○		○	
		学習のまとめ①	↓	↓		↓	↓	↓	↓
		◎指導に生かす評価	○	○		○	○	○	○
		●記録に残す評価							●
	第2次 (2時間)	観点の確認① (用具・用材, 全体構成)	↓			↓		↓	
		構想・工夫①	○			○			
		作品制作① (草稿)			↓			○	
		自己評価①		↓			○		↓
		相互鑑賞・意見交換		○			○		○
		観点の確認② (書を構成する要素)							
		構想・工夫の見直し	●	↓		●	↓	↓	↓
		学習のまとめ②	↓	○		↓	↓	↓	○
		◎指導に生かす評価	○	○	○	○	○	○	○
		●記録に残す評価	●			●			
	第3次 (2時間)	構想・工夫②	○			○		○	
		作品制作② (作品)			↓				
		自己評価②		●			↓	↓	↓
		単元の学習のまとめ	↓	↓		↓	●	↓	↓
		◎指導に生かす評価	○			○		○	
		●記録に残す評価		●	●		●	●	

(2) 本単元における観点別学習状況の評価方法

評価の観点と単元の評価規準			○「おおむね満足できる」状況（B）の例 ◎「十分満足できる」状況（A）の例 ◆「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への手立て
知識・技能	知表	手紙文の伝統的な表現形式、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○手紙文の伝統的な表現形式、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて、おおむね理解している。 ◎手紙文の伝統的な表現形式、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて、構想・工夫したり意見交換で言語化したりする活動を通して実感的に理解している。 ◆手紙文の伝統的な表現形式、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて、ICTを活用して具体例を示すなどして実感的に理解できるよう支援する。
	知鑑	線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について理解を深めている。	○線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について、おおむね理解している。 ◎線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について、相互鑑賞・意見交換したり言語化したりする活動を通して実感的に感受し、理解している。 ◆線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について、ICTを活用して具体例を示すなどして実感的に感受し、理解できるよう支援する。
	技能	書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けている。	○書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能をおおむね身に付け表している。 ◎書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付け表し、表現性と表現効果等を生かして効果的に表現を工夫する中で、技能を更に高め、表している。 ◆学習活動を振り返るようにしたり、ICTを活用して動画や画像を再度確認するようにしたりして、表現の技能を実感的に捉え表すことができるよう支援する。
思考・判断・表現	思表	手紙文の基本構成に基づき、文章を工夫し、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。	○手紙文の基本構成に基づき、文章を工夫し、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想・工夫するとともに、おおむね自身の考えを適切な用語を用いて言語化している。 ◎手紙文の基本構成に基づき、文章を工夫し、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について深く考えて構想・工夫するとともに、知識を活用して自身の考えを適切な用語を用いて言語化している。 ◆意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、構想・工夫とその見直し、再構築に取り組めるよう支援する。
	思鑑	生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを深く味	○生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさをおおむね味わって捉えるとともに、自身の考えを適切な用語を用いて言語化している。 ◎生活や社会における書の効用について自らの生活と関わらせ

		わって捉えている。	て考え、書のよさや美しさを深く味わって捉えるとともに、自身の考えを適切な用語を用いて言語化している。 ◆意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、書のよさや美しさを捉える活動に取り組めるよう支援する。
主体的に学習に取り組む態度	態表	自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に主体的に取り組もうとしている。	○自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に粘り強く取り組もうとしている。 ◎自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に、計画的に自らの学習を振り返り、適切に調整を重ねながら主体的に粘り強く取り組もうとしている。 ◆学習した手紙文の表現や自身の取組の経緯を振り返るようにし、既得の知識と技能を生かして、主体的に表現の学習活動に臨めるよう支援する。
	態鑑	手紙文のよさや美しさを感じ、手紙文の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞に関する専門的な学習に取り組もうとしている。	○手紙文のよさや美しさを感じ、手紙文の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞に関する専門的な学習に粘り強く取り組もうとしている。 ◎手紙文のよさや美しさを感じ、手紙文の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞に関する専門的な学習に、計画的に自らの学習を振り返り、適切に調整を重ねながら主体的に粘り強く取り組むとともに、生活や社会との関わりや自身の人生とも関わらせて幅広い視野から書を捉えて深く考えようとしている。 ◆学習した手紙文の表現や自身の取組の経緯、相互鑑賞・意見交換での他者との感じ方や捉え方、考え方を振り返るようにし、手紙文の表現及び自他の作品のよさや美しさを感じ、主体的に鑑賞の学習活動に臨めるよう支援する。

(3) 観点ごとの実現状況等を見取る方法（評価対象と学習活動）

ア「知識・技能」

- 【知表】・・・（評価対象）ワークシート，活動の様子（意見交換における発言）等
（学習活動）「手紙文の理解」「手紙文の作成」「観点の確認」「構想・工夫」
「構想・工夫の見直し」等
- 【知鑑】・・・（評価対象）ワークシート，自己評価カード，
活動の様子（意見交換における発言）等
（学習活動）「鑑賞・意見交換」「観点の確認」「相互鑑賞・意見交換」
「学習のまとめ」「自己評価」等
- 【技】・・・（評価対象）作品 等
（学習活動）「作品制作」等

イ「思考・判断・表現」

- 【思表】・・・（評価対象）ワークシート，活動の様子（手紙文の作成における取組状況 等）等
（学習活動）「手紙文の作成」「構想・工夫」「構想・工夫の見直し」等
- 【思鑑】・・・（評価対象）ワークシート，自己評価カード，
活動の様子（意見交換における発言 等）等
（学習活動）「鑑賞・意見交換」「自己評価」「相互鑑賞・意見交換」
「単元の学習のまとめ」等

ウ「主体的に学習に取り組む態度」

- 【態表】・・・（評価対象）ワークシート，自己評価カード，
活動の様子（作品制作における取組状況）等
（学習活動）「手紙文の作成」「作品制作」「構想・工夫」「単元の学習のまとめ」等
- 【態鑑】・・・（評価対象）ワークシート，自己評価カード，
活動の様子（意見交換における発言，鑑賞活動における取組状況）等
（学習活動）「鑑賞・意見交換」「学習のまとめ」「相互鑑賞・意見交換」等

(4) 本時における学習過程と評価の具体

単元⑥「生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞」第1次(2時間)の学習計画【本時はその1・2時間目】

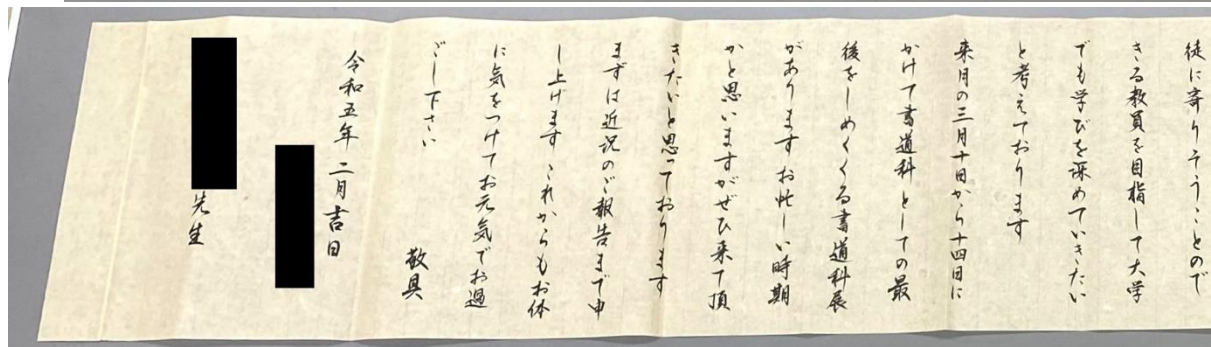
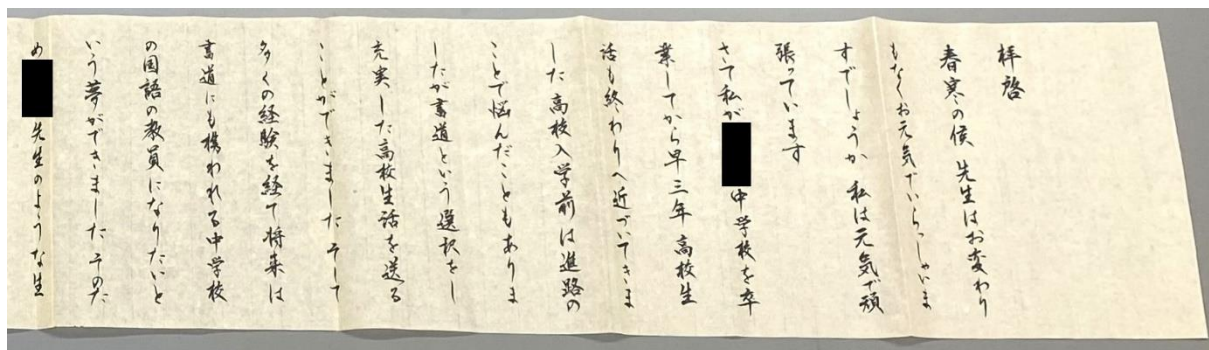
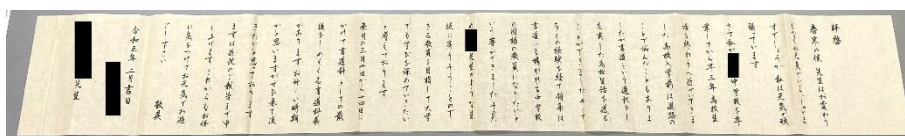
	活動の流れ	時間	ねらい・学習活動	指導上の留意点 「・」指導上の留意点 「◆」支援内容	評価の方法					
					◎指導に生かす評価 ●記録に残す評価 「観」活動の様子 「ワ」ワークシート 「作」作品 「カ」自己評価カード					
					知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	知 表	知 鑑	技 表
第1次	導入	20分	○鑑賞・意見交換 ・これまでに学習してきた「風信帖」,「十七帖」を取り上げ,各古典についての内容をまとめるとともに,各古典の共通点について考え,適切な用語を用いて言語化し,ワークシートに記入する。その後,相互に考えを伝え合い,意見として出た新たな見方・考え方に触れ,自身の見方・考え方を再構築する。活用する意見をワークシートに記入する。	・「風信帖」,「十七帖」の内容について資料をもとにまとめるよう働きかける。他者の意見を認め合い,尊重する姿勢を持って活動するよう留意するようにする。 (ICTの活用) ◆共通点について考えることが困難な場合は,要点を示し,理解することができるよう支援する。	ワ ◎		ワ ◎		ワ ◎	
			・「風信帖」,「十七帖」の各古典の内容が手紙であることを踏まえ,藤原佐理の手紙である「離洛帖」,「恩命帖」,「国申文帖」を鑑賞し,各古典の共通点や筆者について考え,適切な用語を用いて言語化し,ワークシートに記入する。その後,相互に考えを伝え合い,意見として出た新たな見方・考え方に触れ,自身の見方・考え方を再構築する。活用する意見をワークシートに記入する。	・藤原佐理の人間味溢れた表現を感受するとともに,筆者自身についても触れ,まとめるよう働きかける。他者の意見を認め合い,尊重する姿勢を持って活動するよう留意するようにする。 (ICTの活用) ◆藤原佐理の手紙3通の共通点やその3通から推測できる筆者について考えることが困難な場合は,要点を示し,理解することができるよう支援する。						
			・良寛,坂本龍馬,野口シカ,夏目漱石の手紙文から手書き文字の効果について考え,適切な用語を用いて言語化し,ワークシートに記入する。その後,相互に考えを伝え合い,意見として出た新たな見方・考え方に触れ,自身の見方・考え方を再構築する。活用する意見をワークシートに記入する。	・近代の様々な人物の手紙文から筆者の思いに触れ,手書き文字の効果についてまとめるよう働きかける。他者の意見を認め合い,尊重する姿勢を持って活動するよう留意するようにする。 (ICTの活用)						
	展開	70分	○手紙文の理解 ・手紙文の文化的背景や伝統的な表現形式(立紙・折紙・切紙・巻紙),基本構成(前文・主文・末文・後付・副文)について理解する。	・資料をもとに,手紙文の文化的背景や伝統的な表現形式(立紙・折紙・切紙・巻紙),基本構成(前文・主文・末文・後付・副文)について理解するよう働きかける。	ワ				観	
			○鑑賞 ・巻紙作品の例の鑑賞を通して,表現の意図,表現の工夫,書のよさや美しさについて,見方・考え方を働かせて捉え,考え,適切な用語を用いて言語化し,ワークシートに記入する。	・作品例を参考にすることで見通しを持って手紙文の制作に取り組めるように働きかける。		ワ		ワ		観
			○手紙文の作成 ・お世話になった中学校の先生に向けて巻紙を使用した手紙を制作する。これまでの感謝の気持ちや高校生活を通しての自己の成長などを伝えるために,手紙文の基本構成(前文・主文・末文・後付・副	・資料の様々な手紙文の文章例を参考にし,手紙文の基本構成(前文・主文・末文・後付・副文)に基づき文章を作成するよう働きかける。 (ICTの活用)	ワ ◎		ワ ◎		ワ ◎	

10 資料（ワークシート①，巻紙作品の例，ワークシート②，自己評価カード）

◆資料①と資料②の古典について簡潔にまとめ、共通点について考えよう。 他者の意見	◆資料③の古典を鑑賞し、三つの古典の共通点や筆者について考えよう。 他者の意見	◆資料④の手紙文を鑑賞し、手書き文字の効果について考えよう。 他者の意見	◆資料⑤の巻紙作品の例を鑑賞し、表現の意図、表現の工夫、書のおさや美しさについて考えよう。
--	---	--	--

漢字仮名交じりの書Ⅰ ワークシート①
「生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞」
三年 六組 番 氏名

巻紙作品の例
(生徒作品)



漢字仮名交じりの書「ワークシート②」
「生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞」
三年 六組 番 氏名

[illegible]

第 3 回										第 2 回										第 1 回										単元の計画			単元の目標			科目の目標			教科：書道		自己評価カード					
／										／										／										第三回	第二回	第一回	「学びに向かう力、人間性等」	「思考力、判断力、表現力等」	「知識及び技能」	・手紙文の伝統的な表現形式、名筆や現代の様々な書の実践と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と書の実践の多様性について理解を深める。 ・書の伝統を踏まえ、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付ける。	・手紙文の基本構成に基づき、文章を工夫し、目的や用途、表現形式に即した全体の構成について構想し工夫する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書の実践のよさを深く味わって捉える。	・自身の表現の意図に基づく手紙文の表現に関する専門的な学習に主体的に取り組む。 ・手紙文のよさや美しさを感じ、手紙文の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞に関する専門的な学習に取り組む。	漢字仮名交じりの書の学習を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、専門的な書道に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	(1) 漢字仮名交じりの書の表現形式について理解を深めるとともに、目的や用途、意図に応じて創造的に表現する技能を身に付けるようにする。 (2) 現代の社会生活に生きる様々な書の実践とその要素について理解を深め、表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 漢字仮名交じりの書の個性、創造的な表現を追求する態度を養う。	単元名	生活に根ざした手紙文の表現と鑑賞	三年	漢字仮名交じりの書Ⅰ	三年六組	番 氏名

11 参考文献

- ・文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編』（平成 31 年 3 月），教育図書株式会社
- ・埼玉県教育委員会『埼玉県高等学校教育課程編成要領』（令和元年 9 月）
- ・全国書道高等学校協議会『研究紀要第 25 号』（令和元年度）
- ・国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 芸術（書道）』（令和 3 年 8 月）
- ・『書Ⅰ』（令和 4 年），教育図書株式会社
- ・『書Ⅱ』（令和 5 年），教育図書株式会社
- ・『書Ⅱ』（令和 5 年），光村図書出版株式会社
- ・『書道Ⅱ』（令和 5 年），東京書籍株式会社
- ・『雄山閣書道講座 11 漢字かな交じりの書』（平成 10 年 5 月），雄山閣出版株式会社